

# 2026 年度入試 一般選抜 A (1 月 29 日)

## 出題の意図【数学】

### ■大問 1

数学 I・A・II・B の基礎事項の理解と、それらを適切に活用して問題を解決する力を問う。不等式や二次関数の決定、整式の剰余、円の方程式といった各分野の習熟度を評価する。また、二項係数の性質を利用した組合せの総和や、数列の規則性を捉える計算を通じ、論理的な数式処理能力をバランスよく測定する意図がある。

### ■大問 2

正四面体の各頂点間における点の移動を題材に、動的な事象のルールを整理し、漸化式として表現できる力を問う。具体的な試行を通じた確率計算から移動の規則性を捉え、適切な関係式を自力で構築できるかを評価する。確率と数列の知識を融合させ、一般項を導く一連の過程を通じて、論理的な思考力と計算の確実性を測る意図がある。

### ■大問 3

数学 II の微分・積分における基礎事項の理解と、それらを適切に活用して問題を解決する力を問う。放物線と直線に囲まれた面積の変化を捉え、最小値を与える条件を導く数式処理能力を評価する。また、3 次関数の増減を解析し、特定の区間で正となる定数の範囲を求めるプロセスを通じ、関数の性質を論理的に考察する力を測る意図がある。

### ■大問 4

数学 III の微分・積分における基礎事項の理解と、それらを適切に活用して問題を解決する力を問う。積の微分法から高次導関数の規則性を導き出し、特定の次数における値を求める計算力を評価する。また、置換積分を念頭に置いた分数関数の定積分を通じ、数式に応じた最適な手法を選択し、的確に処理する技能を測る意図がある。